

健康経営優良法人（大規模法人部門）に2年連続認定、評価順位も大幅に更新 ～エンゲージメント向上をKGIに掲げ、戦略的な健康経営を深化～

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）および株式会社ヤマダデンキ（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：佐野 財丈、以下、ヤマダデンキ）は、経済産業省が進める「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定されたことをお知らせします。両社ともに、今回で2年連続の認定となります。また、健康経営戦略マップに基づく施策の深化により、大規模法人部門内における評価順位が前年より1000位以上向上いたしました。



健康経営[※]とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することであり、健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を認定する顕彰制度です。

ヤマダホールディングスおよびヤマダデンキは、2024年9月に健康経営宣言を表明し、社員が持てる能力を最大限発揮できるよう、すべての社員が安心して働ける労働安全衛生環境の維持向上と心身の健康の増進が企業存続の基盤をなすという考えのもとに健康経営を推進しています。

■ヤマダホールディングス・ヤマダデンキの主な取り組み

従業員の心身の健康が企業活力の源泉であると考え、「戦略マップ」に基づき、課題解決に向けた具体的な施策を展開しています。

1. エンゲージメント向上を最優先課題（KGI）に設定

ヤマダホールディングスでは、健康経営の最終的な目標（KGI）として「エンゲージメントサーベイスコアの向上」を掲げています。従業員がやりがいを持って、いきいきと働ける職場環境を構築することが、生産性の向上や組織の活性化に直結するという考えに基づき、サーベイ結果を分析・活用した組織改善に取り組んでいます。

2. 生活習慣病予防と「禁煙デー」の定着

2025年5月より導入した「就業時間内禁煙デー」の運用を継続し、従業員の健康意識向上を促進しています。また、健康保険組合と連携した特定保健指導の実施率向上や、重症化予防に向けた受診勧奨を徹底し、評価スコアの向上に繋がりました。

3. 労働安全衛生と職場環境の整備

「安全衛生委員会」を軸に、労働災害の防止に向けた「ヒヤリ・ハット報告」の活用や、熱中症対策アラームの全店導入など、現場の安全確保を徹底しています。こうした土台作りが、従業員の安心感とエンゲージメント向上を支える基盤となっています。

■今後の展望

ヤマダホールディングスは、今回の順位大幅向上を励みに、今後も「エンゲージメントサーベイスコア」の改善を軸とした健康経営を推進し、ステークホルダーの皆様信頼される企業として、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

ヤマダホールディングスの健康経営体制や取り組みについては、下記をご覧ください。

<https://www.yamada-holdings.jp/csr/csr404.html>

以上

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】

株式会社ヤマダホールディングス 統合経営企画室 経営企画部 広報課
TEL : 027-345-8947 E-mail : ymd_kouhou@yamada-denki.jp